



東大成小だより

さいたま市立東大成小学校

令和5年3月1日

ホームページ:<http://higashionari-e.saitama-city.ed.jp>

Tel 663-3210 Fax 663-9883

今年度の振り返りと来年度に向けて ～学校運営協議会でいただいた意見から～

校長 岡田 健彦

1年生の下校時に地域の見守りボランティアさんと「今日は春らしいですね」とお話しする日が増えてきました。まだまだ朝夕は厳しい寒さが続きますが、御自愛ください。いつも子どもたちの温かい見守りに感謝申し上げます。

さて、第3回学校運営協議会では、今年度の学校評価に対する御意見をいただくとともに、来年度の学校経営方針の仮承認(※)をいただきました。まず、学校評価の報告では、本校のよいところとして、心を潤す4つの言葉をよく使えること、登下校時の地域の安全対策への取組がよくなされていることの2点を報告いたしました。一方、課題としては、習得すべき学力が十分についていない児童がいることや家庭教育への啓発が必要である点を報告いたしました。委員の方々からは、たくさんの意見が出されましたが、特に、読解力、基礎基本の定着、体力向上は継続課題として、学校がそれに対する手立てを具体的に図っていかなければならないことなどがあげられました。これらの課題に正対して取り組んでいくために、校長から来年度の学校経営方針案を説明いたしました。

来年度の主な改善策

- 学校教育目標を現在の徳・体・知の3観点から、知・徳・体・コミュニケーションの4観点の具体的な目標に変更する。
- 目指す学校像をスクール・コミュニティの一層の実現に向けて、現在の学校に任せる内容から、学校と保護者と地域が児童のために協働して運営する内容に変更する。
- タブレット等のICT機器を活用した授業改善を一層進め、個別最適な学びを実現する。
- 地域の社会人講師や民間企業との連携によるSTEAMS教育や総合的な学習の時間等の体験的な学びを積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 生徒指導、教育相談、特別支援教育の一層の充実により、規律ある態度の育成、いじめの認知及び解消、児童の個別支援体制、個の実態に応じた教育形態の変更を積極的に進めていく。
- ゆとりある日課に変更し、児童と教員とのかかわりの時間をもてるようにする。
- 児童がコミュニケーションを深め、自発的に活動する特別活動の実践の時間を確保するために、ロング昼休みを週に2回確保する。併せて、このことにより、体力向上のための時間を確保する。
- 給食業務委託化で教員の給食ワゴン移動作業がなくなったことにより、給食準備片付け時間を5分間短縮し、児童の下校を5分早めることで、教職員の会議及び学級事務の時間をこれまでの20分間から25分間に5分間増やし、業務改善につなげる。他（紙面の都合で省略）
- ※(仮承認は、6月の第1回学校運営協議会の承認を待たずして校長が4月当初に職員会議提案を可能にするためのものです。学校経営方針は、4月の学校だよりで御案内いたします。)

先日の参観日には、たくさんの保護者の方々に子どもたちの日頃の様子を見ていただきました。その際に、「校長先生、いろいろあった一年間でしたが、この学年の子どもたちは、確実に成長していますよ。」と温かい言葉をかけていただきました。咄嗟のことで、「いえいえ、それは、御家庭の協力があってこそ、また、子どもを取り巻く大人たちのサポートなくして実現できないことですよ。ありがとうございます。」という返答がその場でできなかったことが悔やまれます。年度当初から、通学班や地域の防犯対策について真剣に検討したこと、PTAのテントをお借りして安心して運動会ができたこと、学校を愛する気持ちを高めるために、校門を希望の色に塗り替えたこと、コンピュータ学習教材を全校一斉に導入したこと、誰もが活用できるスタディステーションを各フロアに設置したこと、ベルマークでドッチビーの学級配布等があり、遊びのレパートリーが広がったこと、そして、直近では、太鼓が復活したこと、室内で飼育できる新たなかわいいうさぎ(みたらし君)を迎え入れることができたことなど、子どもたちのたくさんの笑顔のもととなる活動は、学校の力だけでは成し得ませんでした。一年間、皆様の御支援と御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。